



学校だより

笑顔あふれる学校を目指して

ホームページ <http://www.koganei.ed.jp/~kogan1js/>

在校生号 令和4年3月25日
小金井市立小金井第一中学校
小金井市桜町2-3-15
TEL 042-383-1161
FAX 042-382-0401

一年のまとめ

校長 山中 栄治



4月に1年生を迎えた入学式から1年が経ち、18日(金)に卒業式を終え、修了式となりました。この1年間、生徒は様々な活動や体験を通して、一步一步着実に成長しました。そして、生徒の笑顔が見られ、気持ちのいい挨拶を聞き、元気をもらい、令和3年度が終わります。

3月18日(金)、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の中で第75回卒業式を行いました。3年生は、短期間の練習を行い、約1時間の卒業式でした。一昨年・昨年と在校生は参加できませんでしたが、3年生から学んだことや受けた恩を忘れることなく、一中の良き伝統を引き継ぎ、新入生が安心して生活できる雰囲気を感じることができるようにしてほしいと思います。

2年生は、3年生に進級します。相談する先輩はもういません。今までの経験を活かして、一中を今まで以上に過ごしやすい学校にしていきたいと思います。そして、最高学年として、学校をリードしてください。

1年生は、新入生を迎える学年として成長しました。小学校と異なる学校生活や授業などに戸惑いもあり、大変なこともあったと思います。1年生の経験を新入生に教えてあげてください。

保護者・地域の皆様には本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援をいただき有り難うございました。心から感謝いたします。



【 卒業生 門出の言葉 】

冬に寒さも日ごとに和らぎ、吹く風に春の訪れを感じられるようになりました。今日この良き日に、私たち156名は、小金井第一中学校を卒業します。3年前の春、この場所で始まった中学校生活、慣れないことばかりだった毎日。少し大きかった制服はいつの間にかすっかり小さくなり、時の流れを物語っているようです。そして過ぎていった日々があっという間に感じられるのは、一中での生活がそれだけ充実していた証だと思います。そんな3年間の中でも特に心に残っているのは、入学してすぐに行われた学年集会で、ある先生が仰っていたことです。「これから先、土台作りが何よりも重要、生活態度を整え、基礎をしっかりと固めてから初めて、その上に色々なものを積める。」この話を聞いて私の頭に浮かんだのは、一中で受け継がれている「あたりまえのことをあたりまえに」という精神です。挨拶をしっかりとする。時間を守る。話をしっかりと聞く。正しい服装をする。一中生の4つのあたりまえとはいえ、何もこれは一中だけの常識ではないので、そんなこと分かっていると、最初は軽く捉えていました。

しかし、新しい環境に馴染み、中学での生活に慣れ、緊張が解けると少しずつそういった「あたりまえ」が疎かになり始めました。気の緩みが目立ち、先生方から注意を受けることが増え、集会も頻繁に開かれる日々。日常がぐらつき、不安定になるような感覚に危機感を覚え、土台作りがいかに重要なものなのか、その重みを理解しました。決して落ち着いた学年ではなかったし、平穏な三年間ではなかった。それでも、これまで積み重ねてきた、何でもないあたりまえの行動が、目立たない普通の毎日が、次の一步を踏み出す原動力となり、私たちの足元を支える礎となりました。思い出も、別れも、また別の場所で始まるそれぞれの生活も、全てを支える確かな礎に。

1年生の終わり、突如として現れた新型コロナウイルス。この未知のウイルスによって私たちの何気ない日常は、あっという間に壊されてしまいました。数か月に及ぶ休校、運動会、移動教室、ふじがね祭の中止が次々と決まっていきました。この経験から何気なく過ごしてきた日常は、かけがえのない大切な時間だったと気づかされました。コロナ禍だったからこそ、学校に行けるありがたさを知り、一日一日を大切にしていこうという気持ちが芽生えました。そんな中、2年生の3月、中止となった様々な行事の代わりに行われた球技大会、2年生唯一の行事となったため真剣に取り組む人が多く、白熱した戦いが数多く繰り広げられました。3月をもって転校してしまう仲間を皆で応援した時は、仲間のことを思いやれる学年の良さを改めて感じました。皆で一つのことに熱中する楽しさを久しぶりに強く感じた球技大会となりました。大きな盛り上がりを見せた球技大会を終え、3年生となった私たちを待っていたのは、受験でした。自分の進路を自分で考え、選択し、努力し続ける必要があります。今まで味わったことがないような重圧に押しつぶされそうなとき、私たちの強い見方は仲間の存在でした。互いの分からないところを授業中や休み時間を使って教え合える仲間がいることはとても心強かったです。また、仲間と会話したり遊んだりした時間も苦しい受験勉強の中での楽しみとなり、心の支えとなっていました。良く先生方から「受験は個人競技ではなく団体競技だ」と言われていましたが、徐々にその意味が分かり、仲間という存在の大きさに気づかされました。この素晴らしい仲間たちと共に過ごし、努力し続けてきた日々は私たちの土台となり、必ずこの先の人生の支えになると信じています。

一中の2大行事である運動会とふじがね祭。2年生のとき、コロナの影響で実施できなかったこれらの行事は、

やっとの思いで翌年3年生になって開催することができました。例年とは違う形の中でも僕達は、この2つの行事に全力で取り組み、仲間と団結することができました。クラス対抗で戦った大縄跳び。最初は、せいぜい飛べても数十回。クラスで息が合わずたくさん悩みました。周りのクラスの回数ばかりが気になってしまう日々。多くの壁にぶつかりました。しかし、お互いに精一杯声をかけ合い、練習を重ねた結果クラスの心が一つになり悩みの壁を飛び越えることができました。必死に声を出し飛んでいる僕たちの額には大粒の汗。ここには僕達の思い出がしっかりと詰まっていた。本番、競技を終えた僕たちの額にはマスクの焼け跡が、仲間との団結の証が、しっかりと刻まれていました。もう一つの2大行事である、ふじがね祭。最初の練習時、あの時の声は弱々しく合唱とはいえない状態でした。コロナの影響もあり、開催場所も一中の体育館に変更。僕たちの知っている行事とは違う形。本当にふじがね祭は開催できるのか、と半信半疑な状態でなかなか皆の心が一つにまとまりませんでした。しかし、日に日に練習を重ねるうちに、ふじがね祭を実施させたい、ここまで来たら歌いたい、という気持ちが段々と高まっていき、団結することができました。歌声も最初に比べ見違えるほど力強くなりました。たった2週間の練習期間。さらには、コロナ禍という厳しい制約。しかし、だからこそ僕達は、より一層心一つに合わせようという意識を強くもつことができたのだと思います。歌い終わった後の枯れた声、これもまた団結の証です。僕たちの運動会、ふじがね祭、共にコロナに負けない団結力で挑みました。その時の思い出、そして青春はマスクをも通り越し、互いの胸に刻まれました。

私たちはこの3年間、多くの方に支えられ生活してきました。毎日、学校を清潔に保ってくださった用務員さん、受験の時書類を送ってくださった事務員さん、毎日おいしい給食を作ってくださった栄養士さん調理員さん。3年間、楽しい学びを提供してくださった先生方。個性あふれる定期考査はとても難しかったけれど、面白い授業のおかげで興味をもって学習することができました。中学校に入学してからもいつも応援してくれた家族。受験で辛い思いをしている時の励ましの言葉は、大きな心の支えでした。そして、3年間共に過ごしてきた仲間たち。悲しみも喜びも分かち合ってきた中学校生活は一生の宝物です。入学式から今日という日を迎えるまで、この仲間たちでなければ、こんなにも充実した中学校生活は送れていなかったと思います。そう感じるほどに一人一人の存在が大切だったのだと分かったのは卒業式までのカウントダウンを始めた37日前のことです。37日という日数は、あまりにも短く「卒業」の2文字が段々と現実味を帯びてきていました。「一中を卒業しても、上手くやっていけるだろうか。」そんなことを考えもしたけれど、私たちはそれぞれ歩むべき道があります。その道は十人十色。どれ一つとして同じ道はありません。途中で大きな壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、私たちはきっとどんな壁でも乗り越えられます。この小金井第一中学校で自分は決して一人ではないということを学んだからです。これから先の人生、辛い時は一中での日々を思い返していこうと思います。3年間、色濃い中学校生活をありがとうございました。

令和4年 3月18日 卒業生代表



【 在校生 送る言葉 】

膨らむ桜のつぼみが春の訪れを告げるころとなりました。暖かい春風が吹く今日、三年生の皆さんは、小金井第一中学校を卒業されます。皆様の旅立ちを在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方と初めてお会いしたのは、今から2年前。僕たちが入学して間もない頃のことです。当時の僕たちは自粛期間明けということもあり、先行き不透明な中学校生活に対して緊張と不安が入り混じった複雑な気持ちで登校していました。そんな中、先輩方が明るく笑顔で接してくださったことを僕は鮮明に覚えています。委員会活動や部活動、行事や日々の活動の中でも、先輩方のリーダーシップが、僕たちの支えになっていました。「後輩に優しく、よりよい小金井一中を作ることに一生懸命」という先輩方のイメージは、今日まで決して変わりません。先輩方と学年を越えて関わる機会は少なかったですが、数少ない行事を通して「何事にも一生懸命な先輩方の想いの強さ」を実感しました。様々な行事の前に三年生のフロアに行くと、行事と真摯に向き合い、それを最高の物にすべく、全力で取り組む先輩方の姿が「必ず」ありました。日が沈むまで学校に残り、全力で行事の準備に取り組む姿はとてもかっこよかったです。

昨年10月に開催されたふじがね祭では、雄大な大地を彷彿とさせる、迫力のある合唱に感銘を受けました。画面越しであったものの、聞いている人たちの心を奪う合唱の裏には、きっと計り知れない努力があったのだなと思いました。そんなふじがね祭の開会式で僕は挨拶をすることになりました。壇上に立って挨拶をするという初めての体験に大きなプレッシャーを感じていました。開会式の本番前に、ある先輩が舞台袖でひたすら応援してくださいました。その先輩は自分も挨拶をするとあり、一緒に舞台袖で待機していました。その時に何度も何度も「大丈夫、頑張って！落ち着いてやればできる！」と応援の言葉を掛けてくださったことを今でもはっきりと覚えています。きっとあの時の先輩の声が無ければ、僕は落ち着いて挨拶をすることは出来なかったと思います。そして、挨拶を終えて舞台袖に戻った後には、全力で「お疲れ様！！」と労わりの言葉を掛けてくださいました。その先輩も自分の挨拶があり、緊張されていたと思います。そんな中でも、僕のことまで気にかけてくださいました。自分のことで精一杯な状況でも、後輩のことまで気を配っていて、僕もこんな行動ができる三年生になりたいと憧れを抱きました。僕はこれから学校生活を過ごして行く中で、今度は最上級生という立場で活動していくこととなります。その中で、学年を越えた活動があるかもしれません。そうなった時に、先輩方のように、自分の成すべきことを全うした上で、後輩の面倒まで見てあげられるような三年生になれるよう、日々努力

したいと思います。

最後になりましたが、皆さんはこれから一人一人違った道を歩まれると思います。その道のりは決して平坦な物ではなく、いくつもの山場を越えていかなければならないかもしれません。そんな状況でも、何事にも一生懸命で後輩想いの皆さんなら乗り越えていけると信じています。ぜひ、この小金井一中との思い出を胸に、未来に羽ばたいていってください。僕たちも先輩方から受け継いだ伝統を守り、次の世代に受け継いで行きます。3年生の皆さん、2年間、本当にありがとうございました。これからの皆さんのご活躍を、在校生を代表して、心よりお祈り申し上げます。

令和4年3月18日

在校生代表

進級おめでとう



入学してきたころは、小学生のようでしたが、今はもう立派な中学生に成長しました。成長してきたのは、体だけでなく内面もしっかりと成長してきていると思います。

また、一年間を過ごして、学習習慣や生活習慣が定着してきています。良い習慣が定着してきていけばよいのですが、どんな学習習慣や生活習慣が定着しているのかを親子で話し合ってみてください。

中学生にとっての一日一日は、生徒にとって非常に大切な時間になります。自分の生活習慣を見つめ、自分のために、将来を考え、どちらの方を向いて、生活していこうとしているのか、毎日の生活を考えさせてください。

二年生の生活が、三年間の中学校生活の中で非常に重要な位置にあります。一年後には自分が希望する進路を考えていくことになります。そのことをご家庭でも話し合い、春休み中に、二年生の生活に向けての心構えを作って、落ち着いて生活できるようにさせてください。よろしく申し上げます。一年間、ありがとうございました。今後もよろしく申し上げます。

第一学年主任 藤田 直浩

「コロナだからこそ新たな発見があった」

昨年度、学年集会の度に言ってきた言葉です。これは、生徒へのメッセージであると同時に、我々自身への言葉でもありました。そんなコロナも2年目に突入してしまいました。

「夏にコロナは終息する」という根拠のない噂を信じ、移動教室の実現を期待していましたが、、急遽、3年生の修学旅行につなげるための課題を学年全体で考えました。その結果、新たに導入した課題が「旅行計画」です。各クラス、各班ごとに、その土地の名所、名産等を調べてガイドブックを作成し、見学スケジュールや予算を組み、最終的にはクラス内で発表をしました。全ての作業は、Chromebook 上で行い、生徒達だけで旅行を作り上げました。こうして、一人ひとりのICTスキルは格段にレベルアップし、教科を超えた学習を行うことができました。

来年度こそはコロナが収まり、修学旅行が実施できた時には、この2年間に蓄えた力を発揮して「今までにない修学旅行」を作り上げることができると信じています。

保護者の皆様、あと1年、ご支援をお願いします。

第二学年主任 齊藤与志朗

まだまだ制約が多い中での生活でしたが、昨年度全くと言っていいほどできなかった交流学級での活動も、行事を通して少しずつできるようになってきました。少人数での落ち着いた生活と同時に、大きな集団の中で様々な体験を積む中での成長も欠かせないものです。それぞれのペースに合わせて、有意義な活動ができた1年間でした。

また、高尾山や鎌倉での校外学習、全体での自立活動や日常生活など、学級としての学習も積み重ねてきました。4月からは、2年生は最上級生に、1年生は先輩になります。これまで見てきた先輩たちの姿を思い出し、皆で考え協力して、安心して過ごしやすい学級づくりに一人一人が貢献していってください。皆さんのさらなる成長を楽しみにしています。

保護者の皆様、本年度も1年間学校への御協力ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

I組担任 浜浦 愛

今年度も制限が続く厳しい毎日を過ごしてきました。そうした状況でもみなさんは前向きに、笑顔で、教室に笑い声が絶えない毎日を送っていましたね。みなさんの前向きな姿勢は常に我々に力を与えてくれました。

仕方ないことではありますが、保護者の方々にみなさんの成長を直接見ていただく機会がなかったのは残念でした。限られた行事やイベントでも自分たちで工夫をして取り組むみんなの姿は本当に輝いていました。教職員一同G組みんなの成長に驚きと喜びを感じる毎日でした。

3年生が卒業して新1年生が入学すると、学級の雰囲気ガラリと変わるのがG組の特徴です。3年生から引き継いだバトンを後輩たちに伝えていってください。また、先輩になっても新しいことへの挑戦は続きます。失敗を重ねて、自分で工夫して、少しずつ成功を掴んでいってください。

来年度も新しいG組でたくさんの思い出をつくっていきましょう。

G組担任 山下 周一

I 組校外学習 江の島～鎌倉 3月11日(金)

鎌倉に、校外学習に行ってきました。今年度初めての班別自主行動です。新江ノ島水族館、由比ヶ浜、鶴岡八幡宮、銭洗弁財天等を回り、江ノ電に乗りました。どこも人が多くて迷子にならないかとても心配になりました。そんな時、常に先輩が後輩をしっかりリードしてくれました。とても楽しかった反面、計画通りにいかずたいへんなことが多くこれからの課題と、楽しい思い出がたくさんできた校外学習になりました。



G 組校外学習 八景島シーパラダイス 3月15日(火)



横浜・八景島シーパラダイスに、校外学習に行ってきました。行きのバスは渋滞もあり、大変な思いもしましたが、アクアミュージアムを散策し、パラダイスクルーズに乗りました。昼食は、カフェでカレーライスなどをそれぞれ食べました。コツメカワウソのかわいいぬいぐるみなどをお土産に買い、このメンバーで行く最後の校外学習で楽しい思い出をたくさんつくりました。



活躍する一中生!



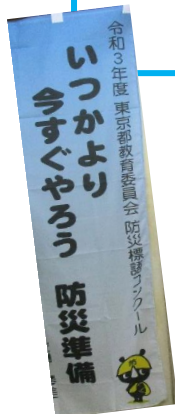
令和3年度小金井市教育委員会児童生徒表彰

3年	第74回関東中学生テニス選手権大会 男子シングルス 出場
3年	“CITTA DI ARONA” 国際ピアノコンクール 2021 C カテゴリー 第1位アッソルト受賞
テニス部男子	令和3年度多摩地区中学校新人テニス大会 (団体戦) 優勝
テニス部女子	2021 関東中学生新人テニス選手権大会 (学校対抗戦) 女子団体 出場



防災標語コンクール

1年
「いつかより 今すぐやろう 防災準備」



吹奏楽部

3月13日の定期演奏会、26日の貫井北センターまつりでのオープニング演奏で、素敵な演奏ができるよう練習しています。限られた中での活動ですが、演奏できることに感謝し、一音一音大切に吹きます♪

3月26日(土) 貫井北センターまつり
開会式のオープニングイベント
(10:00~10:20)

テニス部

中体連テニス部第8ブロック冬季大会
女子団体 優勝
男子団体 ベスト8

卓球部

令和3年度東京都中体連
第10ブロック新人大会(1年生の部)
男子シングルス
準優勝
5位(ベスト8)

4月の予定 今後の状況によっては予定が変わることがあります。

4月6日(水) 始業式	20日(水) 内科検診(2・3年)
7日(木) 入学式	21日(木) 内科検診(I・G組、1年)
11日(月) 給食始	22日(金) I組校外学習
12日(火) 身体測定	28日(木) 耳鼻科検診 部活動保護者会
15日(金) 尿検査 保護者会(全学年)	

一中・連絡メール登録のお知らせ

今年度、本システムの運用に御協力いただき、誠にありがとうございました。現1年生、現2年生については次年度にデータがそのまま持ち上がりますので、4月に再登録の必要はありません。不明な点がございましたら、PTA役員まで御連絡ください。